

学びを結果に変える 関関同立[®]情報

下記の流れに従ってご説明させていただきます。

メモなどを取っていただき、お子様の受験にお役立てください。

- ・ 関関同立の種類と大まかな特色
- ・ なぜ中学受験で関関同立なの？（大学受験でよくない？）
- ・ エスカレーター（大学附属）式だと就職に不利だと聞いたけど本当？
- ・ 入試制度（一般と推薦）
- ・ 推薦の場合の準備と注意点
- ・ 偏差値（五ツ木駿々堂模試）について
大手塾の公開模試、塾内模試の注意点
- ・ 関関同立に合格したいのなら、そのための学習システムが組み立てられている塾へ行くべき。
 - ① 個別指導、家庭教師の問題点
 - ② 大手塾の問題点
 - ③ 個人塾の問題点
- ・ 学志館で関関同立の合格者が多いわけ＝最初から多かったわけではありません。

・偏差値65程度以上の力が必要な関関同立のコースがある

その場合は、難関校対策が必要です。中受ゼミGの問題レベルと、指導法をご確認下さい。

・中学から進学の場合、高校で通用する学力の養成、或いは中学へ入ってから苦労しない学力の養成が必要なのは、大学進学自体が危うくなったり、希望の学部、キャンパスへの進学が難しくなるから。

志望校の偏差値+5で、少し気を抜いても合格するレベル=入学後、上位1/3程度に入るレベル←まずはここを目指す。

・最後に！「過去問題の使い方が合否を分けます」。受験の常識である「過去問題は、できるだけ早く見ておき、傾向と対策を練る事」とされており、それもある意味正しいのですが、小、中学生が行う受験においては、その言葉をうのみにすると、痛い目にあいます。

・まとめ：関関同立の合格は「
」を除いて、学志館が準備したテキストの練習の半分ができれば「
」に合格するレベル、練習問題が全部できれば「
」に合格できるレベルになります。

そして、上記ができていなくとも、村山、宮城と共に教えてもらった問題を解けるようにすれば合格できます。

塾で解説した問題、解答を見たり、教えてもらってできるようにした問題、暗記物などのできる問題を速く正確にできるようにするだけで合格できます=努力で必ず合格できます。それを学志館が支えて参ります。(偏差値60~65程度以上の問題レベルになると、上記のようなことは言ってもらえない場合が多く発生しますが、そのレベルのお子様の場合は上位生対策で指導して参りますね)